

そよかぜ 2月園便り

令和4年2月1日（火）

西東京市立そよかぜ保育園

朝晩の冷え込みに身の引き締まる思い（！？）の今日この頃。
早番の時間帯はまだ真っ暗で、星を戴きながら保育園に向かいます。
でも暦の上ではもうすぐ立春。少しずつ日の出も早くなり、草木の芽吹く季節へと移り変わっていきますね。暖かい春の訪れが待ち遠しいです。

予定していた「親子遊ぼう会」「お父さん懇親会」など、現状を踏まえて中止とさせていただきますが、何とかそれに代わるものを子どもたちと保護者の皆さんにお届けして、共有できないものかと職員一同知恵を絞りました。

そして各クラス、ご家庭で親子一緒に楽しみながらできる共同作業や遊びを提案させていただくことにしました。

0歳クラス **おひな様製作**

4歳クラス **こんなことができるかな**

1歳クラス **絵本を読もう**

5歳クラス **ビュンビュンゴマの達人になろう**

2歳クラス **吹きゴマ製作**

調理 **すごろくお便り** ※配布済みです

3歳クラス **おにぎり作り / ヒヤシンスを育てる**

詳細はクラスの方からお伝えしますが、どのクラスも子どもたちが興味を持って保護者の方と一緒に楽しく、そして意欲的に取り組めるものになっています。

これらを通して触れ合いの時間を持つ中で、満足感や達成感を親子で共有できると嬉しいです。必要なものはこちらから配布させていただきますが、いずれもお家での様子を写真に撮ってきてもらい、紹介させていただければ...と思っていますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

2月3日は節分です。冒頭でも触れましたが、立春を迎えるに当たり、皆が病気をしないで健康に過ごせるように、豆まきをして鬼（コロナも！）を追い払いましょう！

さて、鬼に立ち向かっていける勇者は何人位いるでしょうか...またおたよりや写真等で節分の様子もお伝えしていきますね。

フードドライブ

たくさんご協力頂き、ありがとうございました。



クラス通信



寒い日が続いていますが、昼間、日が出ている時は散歩に出かけています。公園では、足元に霜柱がたくさん。手を伸ばして触るお友達もいますが、ちょっぴり不思議なものに後ずさりして触りたがらないお友達もいましたよ。公園内の**梅の木**は花が咲き始め、その下では木の陰から「いないいないばあ！」と顔を出して笑い合っていて遊んでいます。

もうすぐ節分。赤・黄・緑色から自分で好きな色を選び鬼の帽子を作りました。鬼帽子を被ることが嬉しくて、かわいい子鬼たちがお部屋を「ドンドコドン！」と歩いています。春が来るまでもう少しです。寒い冬を元気に過ごしていきたいですね。



寒さが本格的になり、風が冷たい日も多くなってきましたね。先日、節分製作をしました。自分達で作った鬼のお面をつけて、豆まきごっこをすると、「山から鬼が降りてきた〜」と登場する小鬼たちです。「鬼だぞ〜」という声も普段より低く、鬼になりきって楽しんでますよ。豆をまく子も「おには一そとー！」と力いっぱい豆（に見立てた新聞紙）を投げて楽しんでいます。園ではもうすぐ節分の会。当日もみんなで鬼に変身です！

2月は、鬼にも病気にも負けないように毎日元気に遊んでいきます！！



暖かい日は散歩先や園庭、フットサルコートで沢山体を動かして遊んでいます。**かくれんぼ**もみんなで楽しく遊び、「もういいかい」「もういいよ」、お友だちや大人と一緒に見つからないように上手に隠れています。「見つけた！」という声にみんな笑顔が溢れます。また、体力もととても付いてきて、1時間近くの園周辺の散歩でも最後までしっかりと足取りで歩き、遅くなりました。また生活面では身支度や活動の準備など、自分の事もたくさん出来るようになりましたよ。



大寒とはいえ日中は暖かく、真っ青な空が広がり散歩にもってこいの天気です。日によっては風が吹くと刻一刻と**変化していく空の様子**を子ども達は肌で感じていますよ。ブームの“増え鬼”（鬼ごっこ）の最中に自分のところだけ曇っていたり、陽の光が動くと自分の影も変わることに気が付き、「アッ！太陽が動いた」「雲の形が変わったよ」「流れる雲だね。どんどん流れていくよ。どこいくんだろうね？」不思議がいっぱいある自然の中で走り回っています。先日は、つばめ組さんの後をついて歩き“六仙公園”デビューしましたよ。

遅れるお友達と手を繋いだり、励ましたりと自分の思いで動く姿に成長が見て取れました。部屋では、鬼のお面をつけ練り歩き闊歩しています。

寒さに負けず今月も元気に頑張るぞー！



1月は凧作りをし、**ビニール凧**に自分の好きな絵を描き、たんぽぽ広場でたくさん揚げました。風が受けやすく、時には友達の凧と絡まってしまうことも…それでも自分で紐を調節して走り回って揚げています！また、『六仙公園』でも凧揚げをしましたが、とても広い公園の中を全力で走り続けたので、身体もポカポカでしたよ。寒い冬に負けていません！

年長さんが一足早く始めた『**鬼のお面作り**』。お部屋の窓から年長さんを覗いては、“つばめさんはいつ作るのかな？”と楽しみにしつつ、「鬼いつ来るの？」「急いで鬼のお面作らないと！」と、節分に向けてソワソワしていたつばめ組です。

2月は、鬼と病気に負けず、元気に思い切り身体を動かして遊んでいきたいと思います。



サンタさんからのプレゼントで独楽をもらってから、毎日毎日「独楽やろう！」と声を掛け合い、遊んでいます。初めは、紐を巻くのが難しく途中でほどけてしまい、回す以前の段階で苦戦。そして回し方に苦戦・・・と、難しさを痛感しながらも日々試行錯誤していたはやぶさ組。そのうち紐も固く巻けるようになったことで「あっ少し回った！」と喜びの声が聞こえてきました。一度“できた”ということが嬉しくて、「もう一回やってみよう」と更に遊び、どんどん上達していますよ。今では百発百中で回せる子も増え、全員で『**独楽回し大会**』で大盛り上がりです。

今月も引き続き、独楽回しを楽しみながら散歩先でもたくさん体を動かしていきます。

2月 園行事

2日（水）豆炒り	15日（火）ひなまつり餅つき会
3日（木）節分の会	18日（金）5才交流保育
9日（水）布団乾燥	21日（月）避難訓練
10日（木）栗本先生体育遊び	22日（火）誕生会
14日（月）5才藤井先生ピアノ鑑賞	

※1月に延期・中止となった行事について

- ・4.5オクラス味噌作り：感染状況を踏まえながら、2月に実施します。
- ・父親懇親会：中止となりましたが、新しい取り組みを実施していきます。

「当たり前」に思うこと

東の空が明るくなり、太陽が昇り始める頃、パリ！パリ！ 霜を踏みしめながら車に乗り、出発進行。今日一日の予定を思い浮かべながら車を走らせる。同じ道をピストンのように通っている。大型車の通る時間帯「このトラックは何を積んでいるのかな？」「この建築資材 どんな家になるのかな～」思いを巡らせながら信号待ち。渋滞する中、バイクがスリ抜けていく。「そんなに急いでどこへ行く！」心の声も大きくなる瞬間。変わらない朝の風景。

気づくと看板が架け替えられていたり、畑が住宅に変わったり、信号がついたり、と通り沿いの景色も変化している。「あれ？ 此处はなんだったっけ？」と思うこともしばしば。

明るい声が聞こえ、戯れる子ども達。楽し気な歌声 笑い声 ひとつの笑顔がひろがりみんなを笑顔にしていく。泣いていた子ども笑顔に包まれ、涙をぬぐい笑いの群れに入っていく。

みんなの支えが育ちあえる源。いつもと変わらぬ保育園の姿。今日もみんな元気！ よし！

そんな当たり前が崩れている。

くっつかないで離れて。 食事は黙って食べよう 大きな声を出す歌は歌わない。
等々 これまでと全く逆の事ばかりの配慮事項が求められ、コロナだから仕方ない...

マスクはしていませんか いっしょに居た時間はどの位ですか 食事はどこの席？

傍にいた人はだれ？ 先生たちはどうしていました？

等々 触れ合うことが容認されない数々の確認事項。濃厚接触？ 保育体制は・・・
次々とよぎる不安。あちこちの保育園から聞こえてくる悲鳴。

群れて遊ぶからこそ育つ子ども。かけがえのないこの時。当り前の日常が覆されている。

出来ないと嘆くのは止そう 何が出来るかな～

やっぱり 健康な身体 朝ごはんをしっかりと食べて、疲れを溜めないで早く寝る
体力を落とさない事と再認識。

一日も早く「普通に 当り前の生活」を取り戻すために「私が出来ること」を考えよう。

子どもを守れるのは 大人である 「私」と「あなた」

職員のつぶやき

少し前の話になりますが、元日の朝に家族そろって近所の神社へ初詣に行きました。子どもたちも大きくなり、それぞれ部活やバイト、友だちとの遊びが忙しい毎日。めんどくさい、寒い、いやだ～、せつかくの休みなのに～ と文句を言っていましたが「今日はみんなで行こう！」と半ば強引に誘い出し、出かけました。風は少し強いけど天気も良く、久しぶりに家族5人で散歩できることが嬉しい私。ちょっとの会話を楽しみながら片道30分の道のりを歩いていつもの神社まで。子どもが小さかった頃はお決まりの散歩コースでよく歩いていましたが、今では一年に一回しか行かなくなっていました。みんなでお参りをしてから、おみくじをして、鐘を鳴らし甘酒を飲んでから帰ります。

(酒粕の甘酒はそんなに好きではないのに、いつも並んでもらってしまいます)

帰り道はいやいやついてきた子どもたちも「富士山がきれい！」と言いながら景色を写真に撮っていました。

久しぶりにみんなで歩くことが出来て楽しい時間であり、良い1年のスタートになったなと感じた1日でした。

羽村しらうめ保育園 高橋輝美